

今こそ！ 経営改善で勝ち組みに！

## 経営者のモチベーションアップ

企業発展に貢献6

自分自身が内面に創り出していくイメージ願望の明確化から始まります。  
次の3点をしっかり意識革命いたしましょう。

### (1) 月次試算表で現状チェックする。

- \* どこに手を打てば利益が生まれてくるかを理解する。
- \* お金を残すため(キャッシュフロー)の経営

### (2) 損益分岐点を知る

- \* 収支トントンになる売上高をつかむ。  
売上ー変動費ー固定費=0  
売上ー売上高×変動比率ー固定費=0
- \* 従業員1人(年間240万)採用した場合の損益分岐点はいくらになるか？
- \* 経常利益を500万増加したい場合の損益分岐点は？

### (3) 経営の成功方程式

- 経営理念をつくり、それに基づいた経営方針を明確にする。
- \* 目標数値計画を作る。
  - \* それを達成するための行動計画を作る。
  - \* 10日毎に計画、実績検討の実施。
  - \* 目標に近づくための行動の修正を行ない、そして改善の視点を追求する。

### ＜構造改革＞

- 1.意識が変われば行動が変わる。
- 2.行動が変われば習慣が変わる。
- 3.習慣が変われば成果が変わる。



### 実例として…

あるお菓子の販売商社を23歳で立ち上げた。創業以来、黒字決算を続けている。  
どこの会社より早く決算をする。そして前年より多くの税金を払う努力をしている。「稼ぐシステム」を構築する。それは当り前のことを素晴らしくやると言う。その中に、社員の今以上の幸せを常に考える。「ありがとう」という「感謝」の気持ちを大きな声で毎日24回唱和することとある。

この『紙一重の経営』が、利益に反映すると確信します。

有限会社 天満合同会計  
代表取締役 大塚教進氏



<http://www.m-impact.com/mail/fan/tenma>

## 毎日の記帳が大切

### 1、簿記とは

企業を経営するためには、経営計画をたてその計画にそった経営活動をしなければなりません。そのためには、日常の経営活動を帳簿に記録し経営の実態を把握しなければなりません。そのための情報を提供してくれるのが簿記です。

帳簿は毎日記帳することで、最新情報を提供してくれます。

### 2、補助簿ではなく、総勘定元帳を記帳する

現金出納帳や預金出納帳、売掛金元帳などを補助簿といいますが、これらの帳簿は簿記の仕訳をしなくても記帳することができます。総勘定元帳は仕訳をしなければ記帳することができません。

### 3、総勘定元帳の集計が試算表・決算書になる

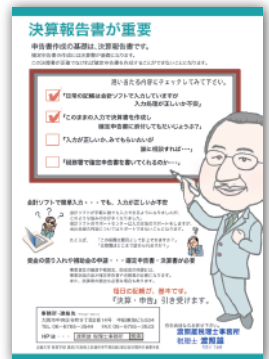
仕訳をし、総勘定元帳に転記し、試算表・決算書を作成します。手作業でこれらの集計は大変な労力を必要としましたが、会計ソフトを利用すると簡単に集計できます。

### 4、仕訳で覚えると楽

会計ソフトで入力をするときに一番大切なことは、正しい仕訳を入力することです。仕訳を間違えると誤った集計をしますので、仕訳を正しく入力しなければなりません。「仕訳はむずかしい」といわれますが、取引パターンで覚えると楽に入力できます。

### 5、自分でできる仕訳集

日常の取引を仕訳するための「自分でできる仕訳集」を編集しました。当事務所ホームページをご覧ください。ご質問があればメールをいただければお答えします。(無料)



渡照雄 税理士事務所  
税理士 渡照雄氏

〒542-0012  
大阪市中央区谷町9丁目2番14号  
中田東海ビル504  
TEL : 0120 - 809 - 157  
FAX : 0120 - 809 - 194

HPは・・・

渡照雄 税理士事務所

検索

クリック!

